

「平成 29 年度の出発にあたって」

高岡保宏

6月3日の総会も無事終わり、新しい取り組みが始まりました。本年度、特筆すべき事項は、新規事業として、白鷺教育会のホームページの開設について了承していただいたことです。ホームページの開設については、昨年度から検討を始め、原稿の作成は、本会の厚生部が担当しました。厚生部の作成した原案を本部役員会で最終的な原案としました。ホームページの作成には、業者の力を借りて、総会で了承を得た後アップすることにしました。今後、ホームページの運用については、本会に新たに「ネットワーク委員会」を立ち上げ、今後の運用に当たることにしました。

その過程で問題になったこと、議論したことを少し整理します。まず、何故ホームページをつくるに至ったかであります。この情報化社会の中で、対外的に本会の存在をアピールし、情報発信できるツールとしてのホームページがぜひ必要であると考えたからです。

また、対外的には本部・支部間の事務連絡の迅速化、会員相互の連携がスムーズになるでしょう。しかし、部外者に本会を正しく理解してもらうにはどういった表現が良いか、これは一工夫必要です。

御承知のように本会の源流は 1901 年（明治 34 年）に兵庫縣姫路師範学校が開設され、野口援太郎校長の指導の下に自由・自治の学風の中で培われた「楽自然愛人類」を理念とする姫路師範学校の教育です。この教育が、明治・大正・昭和・平成の今日まで先輩諸氏の努力により、連綿と受け継がれ、幾度かの変遷を経て今日の白鷺教育会となったその沿革をどのように分かり易く表現するか、これは先輩諸氏が残してくれた資料（会報馳懐、創立 90 周年記念誌、創立 100 周年記念誌等）をひも解くしか方法はなさそうです。

今回ホームページ作成に関わって如何に私は本会のことについて知らないことが多いかを思い知った次第です。

本会は 2020 年に創立 120 周年を迎えます。温故知新、今一度本会の歴史を辿り新しい白鷺教育会の在り方を研究したいものです。